



カリヨン

磐梨小学校ホームページ <https://fa.fureai-cloud.jp/iwanashi-es/>

インフットとアウトフット

校長 大坂 伸一

2月3日「立春」が過ぎ、暦の上では春を迎えました。実際の2月は1年の間で最も寒い時期ですが、せめて気持ちだけでも春を思っていたいものです。

日本には様々な季節の節目がありますが、立春は立夏・立秋・立冬と合わせて四立（しりゅう）と呼ばれています。中でも、立春は旧暦の正月にも近いので分かれ目の意味合いが強くなり、立春の前日には「節分」行事が今でも残っています。季節の変わり目は体調を崩しやすいこともあり、豆を撒いて鬼（＝病気やけが等のよくないこと）を追い払い、代わりに福（＝健康や安全等のよいこと）を迎え入れるというものです。自分や家族、皆の幸福を願う心は、昔も今も変わりませんね。

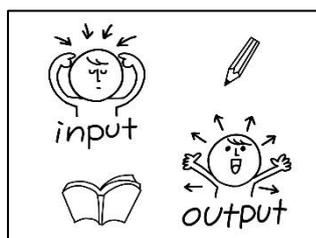


この寒い時期を元気に過ごそうと、磐梨小学校では1月半ばから週に2回、業間持久走に取り組んできました。「5つの大好き」の中の「運動大好き」を育てる取組の一つでもあります。白い息を吐きながら前を向いて走っていく子どもたちの姿に、声援も自然と大きくなります。最近では、様々な理由から校内コースで行う学校が多いのですが、本校は子どもたちの姿を地域の方にも見ていただこうと、安全を確保した上で校外ランニングを続けています。2月6日（木）には校内持久走記録会が予定されています。各自が設定した目標タイムにチャレンジして、記録を更新できるよう期待しています。

3学期は、まとめの学期です。習ってきたことをもう一度復習したり、調べてきたことを誰かに伝えるためにまとめたりする学習が増えていきますが、まとめるときに大切なことは「自分の言葉に置き換える」ことだと言われています。教科書や資料に書いてある文章を「こういうことだな。」「こんなことが書かれているんだな。」と文意を違えずに自分で捉え直すことで、整理ができて理解が深まります。

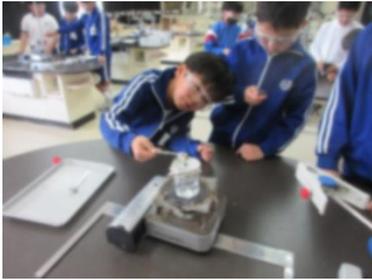


私たちは、ともすると「話したから分かっているはず」「教えたからできるはず」と思いがちです。でも、子どもたちはまるで何も聞いていなかったかのように、失敗をすることがしばしばあります。授業でも、「教えてもらっていません。」とまじめな表情で話す子どももいます。学習したことを忘れてしまうのかもしれませんが、では、どうすれば忘れないのでしょうか。どうすれば自分のものとして身に付けることができるのでしょうか。



そのためには、聞いたことや教わったことを自分の言葉で表すことが大切です。見たり聞いたり読んだりして“インプット”したことを、話したり書いたり作品等に表したりして“アウトプット”することで自分のものにしていくことができるそうです。学校でも、双方向のやり取りを大切にして、子ども同士をつなぎながら「対話」を通して学びを深めようとしています。問題について考え、それを自分の言葉で説明したり、友達の考えを聞いて質問したり、「なるほど」と思ったことを話したり、書き表したりという活動を取り入れています。

昨年末には、保護者の皆様に学校評価アンケートをお世話になりました。十分な双方向のやり取りとはいきませんが、いただいたご意見を今後の教育活動に活かしていきたいと思っております。ありがとうございました



4年理科「水のすがたと温度」では、水を熱すると出てくる白い湯気の正体を確かめました。「水蒸気？水？」といくつか予想を立てて実験すると、湯気に当たったスプーンに水滴が付いたので、「水」だと分かりました。



2年生は2学期にかけ九九を習いましたが、発展学習として九九表に無い4×12の計算にチャレンジしました。「習っていないから分からない」ではなく、習ったことの中から手がかりを見つけて、48の答えを求めることができました。

4月の入学を待ってるよ！

昨年度から続けている「保幼小の架け橋プログラム」の一環で、1月30日（木）の一日入学では1年生と5年生が園児たちを“おもてなし”しました。教室で一緒に遊んだり、図書室で読み聞かせをしたりしました。園児たちの笑顔と1、5年生のお兄さん・お姉さんぶりが印象的でした。



いつもおいしい給食をありがとう

1月27日（月）からの1週間は、磐梨小学校の給食週間でした。「おいしい物語み～つけた」のテーマに因んで、絵本に出てくる料理が毎日“登場”し、子どもたちはお話を想像しながら舌鼓を打ちました。また、給食でいつもお世話になっている方々にお礼の手紙を書き、栄養教諭の内田先生と校務員の山口先生には29日（水）の「ありがとう給食」の日に手渡しました。食べ物や作ってくださる方々に感謝の気持ちをもち続けたいものです。



3月の主な行事予定

- 3日（月）委員会最終
- 10日（月）心が通い合うあいさつ運動
（赤磐市教委来校）
クラブ最終
- 12日（水）読み聞かせ（中・高）
卒業式予行
- 17日（月）卒業式前日準備
1～3、6年下校 13:50
4・5年下校 15:00
- 18日（火）卒業証書授与式
1～5年下校 11:10
- 20日（木）春分の日
- 21日（金）一斉下校 15:00
磐梨中学校一日入学
- 24日（月）一斉下校 15:00
- 25日（火）修了式
一斉下校 11:30
- 26日（水）～4月7日（月）春休み



- 令和7年度
- ・磐梨小学校始業式
4月 8日（火）
 - ・磐梨中学校入学式
4月 11日（金）

自分も相手も大切に

1月23日（木）の参観日は人権教育に関わる学習として道徳や学級活動を公開、参観していただきました。5・6年生は岡山県教育委員会「心と命のサポート事業」として、助産師の東海林みゆき先生を講師に招き、保護者と一緒に命の大切さやかけがえのなさについて考えました。



裏面に続きます。→→→

令和6年度 学校評価アンケートより

学校評価に伴うアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。磐梨小学校は、今年度も「進んで学ぶ子（知）」「思いやりのある子（徳）」「最後までやり抜く子（体）」を掲げて、バランスの取れた児童を育てようと、日々教育活動に取り組んでまいりました。児童アンケートと合わせて、主な結果を以下にお知らせします。〔回答率の（ ）内は前年度比を表示〕

○知に関する項目「授業が楽しい」「分かりやすい授業が進められている」

肯定的な回答率は児童 **91%**（-1%）、保護者 **90%**（+3%）で、前年度とほぼ同じ結果でした。本校ではここ数年、児童が主体となる学びを目指して授業改善を進めてきています。「既習内容から手がかりを探して、新たな課題を解決していく」という学習スタイルが、一定程度根付いてきているものと考えます。

○徳に関する項目「友達を助け合ったり協力したりしている」「思いやりの心が育っている」

肯定的な回答率は児童 **94%**（-3%）、保護者の **95%**（+1%）で、前年度とほぼ同じ結果でした。成長過程にある児童は、自分中心の考え方になりがちで、表現方法が拙いために友達とすれ違うこともよくあります。そのような中で高い水準を維持できているのは、日頃から各家庭で声をかけていただいていることや、保護者の方が学校の指導と同じ方向で協力してくださっているおかげです。ありがとうございました。

○体に関する項目「外でしっかりと遊んでいる」「外で元気に遊んでいる」

肯定的な回答は児童 **84%**（+9%）、保護者 **80%**（+8%）と伸びました。多様な運動に親しませるようにと、体育学習の充実や学級遊びの奨励を図ってきた成果が出たのであればうれしいです。子どもたちは友達や先生と遊ぶのが大好きです。全ての活動の礎となる、元気なからだづくりに今後も努めていきます。

○そのほかの項目

「宿題のほかにも自主学習をしている」「進んで家庭学習（宿題+自主学習）に取り組んでいる」は、肯定的な回答率が児童 **54%**（-34%）、保護者 **53%**（-30%）と大幅に下落しました。担任の眼から見ると児童の回答ほどではないのですが、『どんな学習をすればよいか』悩んでいるのかもしれない。学びの場は学校だけではなく、家庭や地域など至る所にあります。授業や日々の生活の中で、子どもたちの興味や関心を掘り起こすような投げかけを、しっかりと行っていきたいと思えます。

「あいさつや早ね・早おき・朝ごはんができていいる」は、肯定的な回答率が児童 **81%**、保護者 **80%**でした。また、歯・口の健康づくりに力を入れているため別途設えた「歯みがきができていいる」は、肯定的な回答が児童 **86%**、保護者 **76%**でした。設問を分けたため、直接比較はできませんが、前年度結果の児童 91%、保護者 83%よりも低調になっています。マンネリ化を避け、習慣化（ルーティン化）を目指していきたいです。

そのほかでは、保護者のみの回答になりますが「活動の様子を知らせている」が **94%**（+5%）、「地域の学習や地域の方の活用を進めている」が **86%**（+2%）でした。磐梨小学校の教育について、保護者や地域の方々に理解の輪をさらに広げて、より開かれた学校づくりを進めてまいります。

令和6年度児童アンケート集計

	楽しい授業 分かる授業	進んで 家庭学習	思いやり 助け合い	好ましい 異学年関係	目標のある 生活	教育相談	あいさつ 生活リズム	歯みがき	外遊び
とてもそう思う（%）	48	34	67	60	85	45	48	63	74
そう思う（%）	43	20	27	26	15	29	33	23	10
あまりそう思わない（%）	8	13	3	6	0	16	11	8	11
そう思わない（%）	1	33	3	8	0	10	8	6	5
計（%）	100	100	100	100	100	100	100	100	100
得点	3.38	2.55	3.58	3.38	3.85	3.09	3.21	3.43	3.53
評価	A	B	A	A	A+	B+	B+	A	A

得点は、「とてもそう思う」4点、「そう思う」3点、「あまりそう思わない」2点、「そう思わない」1点で、合計を平均したものの評価は、A:得点が3.25～4.00、B:得点が2.50～3.24、C:得点が1.75～2.49、D:得点が1.00～1.74としている。また、A～D各評価内の中間値より高い得点のものを+で表している。

令和6年度保護者アンケート集計

	分かる授業	進んで 家庭学習	思いやり 助け合い	好ましい 異学年関係	目標のある 生活	教育相談	あいさつ 生活リズム	歯みがき	外遊び
とてもそう思う(%)	29	24	30	52	38	41	32	20	47
そう思う(%)	61	29	65	42	42	53	48	56	33
あまりそう思わない(%)	11	29	5	6	18	6	17	23	20
そう思わない(%)	0	18	0	0	2	0	3	2	0
計(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100
得点	3.18	2.59	3.26	3.45	3.17	3.35	3.09	2.94	3.27
評価	B+	B	A	A	A	A	B+	B+	A

得点は、「とてもそう思う」4点、「そう思う」3点、「あまりそう思わない」2点、「そう思わない」1点で、合計を平均したものの評価は、A:得点が3.25～4.00、B:得点が2.50～3.24、C:得点が1.75～2.49、D:得点が1.00～1.74としている。また、A～D各評価内の中間値より高い得点のものを+で表している。

学校評価に寄せていただいた主なご意見

○全般

- ・子どもはいつも楽しく学校に通っています。先生方の温かいご支援に感謝しています。
- ・いろいろな場面で子どもたちに成長できるチャンスを与えて指導していただき、とても感謝しています。

○学校行事

- ・運動会や学習発表会等の行事を前年度と大きく変える場合は、せめて子どもたちに対して納得できるような説明をしてほしいと思いました。
- ・人数が少ないので、学習発表会は全校で歌う場面があった方がより充実感が出てよいのではないかと、家族の間で意見が出ました。運動会も今年度から春になり、6年生にとっては少し寂しいと感じたようです。

○教育相談

- ・スクールカウンセラーの竹内先生のおたよりはいつも心に響き、参考にしています。磐梨小学校には、困ったときに相談できる先生がたくさんいます。「限りある子育ての時間をできるだけ大切に過ごしてください。」という先生方の思いが伝わります。

○人権教育

- ・磐梨小学校の子どもたちには、自分と相手のどちらも大切にするということをしっかり学んでほしいです。「自分さえよければ」という思いではなく、「自分がされて嫌なことは相手にもしない」「相手にも自分と同じように『悲しい』『うれしい』という気持ちがある」ということを理解し、そのような気持ちをもって成長してほしいです。

○他校との交流

- ・全校児童が少ないので、他校との交流の場を増やして友達をつくる機会をつくってほしいです。
- ・豊田小学校との児童同士の交流を、普段から増やしてもよいのではないのでしょうか。

○学校・学級運営

- ・担任の先生は「分からない事や聞きたい事があればいつでもどうぞ。」と言ってくださり、心配事があった時には迅速に対応してくださいました。保育園から小学校に入学し、不安に思っていました。とても細やかな心配りと丁寧な対応で安心して通わせることができ、本当にありがたく思っています。ただ、先生が代わると対応力等が違くと耳にして、少し不安に思っています。
- ・教員同士のチームワークをさらに強めてほしいです。

○PTA関連

- ・いわくPクラブの活動も楽しみにしているようです。中学生や未就学児ともふれ合えるので、親としても有意義に感じています。
- ・磐梨小学校独自のPTAになったのなら、もう少し簡素化したり仕組みを変えたりしてもよいと思います。例えば、地区の配り物は回覧板で回してもらおうと数枚で足り、紙の無駄にもならず済みます。(配っても「要らない」と言われたり、ポストが見当たらなかったりします。)
- ・「参観日は毎月必要なのではないか。」との声を結構耳にします。学級懇談に参加されない方もいて、意味があるのかなと思います。共働き家庭がほとんどだと思うので、時代に合ったやり方に変えていってもよいと思います。

ご指摘のあった課題については、「子どもたちのために」との観点から校内でしっかりと話し合い、改善を図ってまいります。ご賛同いただいたことについては、追い風に換えて前進のエネルギーにしていきたいと思います。

PTA関連のご意見は、役員の方々にも伝えて、評議員会等の場で話し合ってください。

